

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科
キャリアアップMOT(CUMOT)

サプライチェーン戦略スクール
ストラテジックSCMコース(春期・秋期)のご案内

いま問われるサプライチェーンの真価

田町駅前キャンパスで学ぶ最先端SCM
5月および9月開講・全16回+特別講演
毎週金曜19~21時

- 企業経営や業務オペレーションの現場、コンサルティングなどに活躍中の社会人を対象としています。
- 戦略的な視点から、経営科学的なアプローチも含めた最新のSCMを学びます。国際的な水準を意識した科目と内容です。
- 少人数制による質の高い講義とグループ課題演習による大学院レベルの授業で、SCMのプロフェッショナルを目指す方のための講座です。
- 講師は大学教授、実務家、著名コンサルタントなど第一線の現役スペシャリストです。
- 開講は春(5月)秋(9月)の年2回 各20名 修了者には東工大イノベーションマネジメント研究科長より修了証を授与します。

講師代表のメッセージ

長年SCMの普及に関与し、最近の国際比較を通して感じていることは、我が国は個々の現場力や精度や質は海外に比べて勝っているのに、トータルとしてSCMやその成果としての収益力では遅れをとっているということでした。このサプライチェーン戦略スクールは、こういった現状を打ち破る解として、企画されたもので、下記のようなことをそのねらいとしています。

- ・他国にはない我が国の強みを活かしたSCMはどうあるべきかを追求する
- ・グローバルなSCMの状況では今一度、科学的なSCMをブラッシュアップして臨む
- ・部門や組織、企業の「壁」を越えた連携とイノベーションをチェンジマネジメントによって実現する
- ・このようなSCM改革に、戦略的に経営者を引き込む、そのためにはどのようにすればよいか

我々の意図に賛同下さる方々にぜひ受講していただきたいと思います。コースに登場する講師とともに、従来なかった、これから必要とされるSCMの形を一緒につくって行こうではありませんか。

東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 圓川 隆夫



このような方に受講をお勧めします

極めて戦略的であり、かつ経営的な重要性をもつSCMの構築や改革は、経営的な視点、言い換えれば総合的、鳥瞰的な視点をもって、全社的な立場から推進されなければなりません。そのためには経営トップの積極的理解と優れたプロジェクトリーダーの存在が不可欠です。また、情報システムのリーダーがSCMについて理解し、システム構築がされることも重要な要素です。

このような観点から、この講座は経営幹部や、特に経営企画部門のスタッフの方々と共に、全社的な情報システムの企画・構築に当たられる方々にも受講していただきたいと考えています。

また、すでに企業等において、サプライチェーンに関する業務の経験を持ち、解決すべき課題や問題意識を持っている経営者や中堅幹部社員の方々、システム部門の方々に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

受講者のプロフィール(一部)

- ・外資系メディカルメーカーSCM部門
- ・ゼネコン国際プロジェクトチーム
- ・国際物流業経営企画部門
- ・商事会社物流企画部
- ・化学メーカー戦略サプライチェーン部
- ・コンサル会社事業開発コンサルティング部門
- ・電機メーカー生産管理部
- ・食品業SCM推進グループ
- ・商社系ロジスティクス企業
- ・物流ソフトウェアベンダー開発部
- ・流通業SCM本部

受講生の感想

- 「SCMを志す仲間 メーカー、物流業、コンサルタント、など、さまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合うことができた。」物流業ネットワークデザイナー
- 「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し、企業の成功へ導くスタート地点だということを、グループ課題演習での議論を通して学びました。」外資系製造業SCMマネージャー
- 「SCMに関心を持つ講師、グループメンバー、クラスメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です。」メディカル企業SCM部門

スケジュール・募集要項

ストラテジックSCMコース カリキュラム例 (2012年春季)

授業：金曜日 19:00～21:00

回	内容	回	内容
-	オリエンテーション 受講案内/グループ学習支援システム(GMSS)説明		<サプライチェーンの実行プロセス>
	<SCMの概念と経営戦略>	9	プロセスモデル(SCOR)による業務プロセス改革
1	SCM総論 SCMとリスク	10	生産スケジューリングとS&OP
2	経営戦略とSCM革新(1) 経済のパラダイムシフトとCPFR	11	SCMにおける調達マネジメント
3	経営戦略とSCM革新(2) 企業間連携と成長戦略		<流通から考えるSCMの問題>
	<SCMにおける数理技術/ORの活用>	12	消費財流通のチャネル戦略とSCM
4	SCMにおける数理モデルの役割とORの考え方	13	SCMのリスク・マネジメント
5	需要予測と在庫シミュレーション	14	サービスイノベーションとSCM/DC連携
6	最適化モデルとその応用		<グローバル展開における課題>
7	ORモデルによる問題解決とその事例	15	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ
	<TOCとSCMにおける課題分析>	16	グローバル・サプライチェーン戦略
8	TOC概論とCRT演習による課題研究とディスカッション		<特別講義>
		-	グループ課題発表会・特別講演

課題研究は受講者を小グループにわけて、共通のテーマ(SCM改革プロジェクトを成功させるには)について講義内容を参照しながら討議、研究して、全体発表と討論を行うものです。

各コースの講義概要、担当講師とプロフィールはホームページをご参照下さい。

<http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/sss/scm/>



教室における授業は、5人ずつ4グループに分かれて受講し演習もそのグループで行います。



グループ課題発表会、修了式と共に開催される特別講演会には講師や修了生も参加します。

ストラテジックSCMコース募集要項

申込期間

春期 募集開始 3月初旬 秋期 募集開始 7月中旬
募集開始時に説明会を開催 (ホームページにて予告)

募集人数・受講料

20名 ・ 157,500円(税込)

申込方法

願書に必要事項をご記入のうえ下記の住所までお送りください(締切日必着)。申し込み用紙は専用サイトからダウンロードできます。

<http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/sss/scm>

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

キャンパス・イノベーションセンター 705 CUMOT事務局
ストラテジックSCM春期受講申込担当

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書にもとづく書類審査をいたします。原則として、願書受付順に順次審査し、募集定員に達し次第締切ます。受講許可についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします(後日、受講認定証を送付)。詳細は、Webサイト募集要項をご確認ください。

お問い合わせ

東京工業大学大学院

イノベーションマネジメント研究科 CUMOT事務局
東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター705

問合わせ先E-mail : cumot-scm-info@mot.titech.ac.jp

WebサイトURL : <http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/sss/scm>

※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。